

令和 3年 8月 17日

## 随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和3年度河川構造物の耐震性能照査法に関する検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 九州地方整備局長 藤巻 浩之 福岡市博多区博多駅東2-10-7
契約年月日	令和 3年 8月17日
契約業者名	令和3年度河川構造物の耐震性能照査法に関する検討業務国土技術研究センター
契約業者の住所	東京都港区虎ノ門3-12-1 ニッセイ虎ノ門ビル
契約金額	57,970,000円(税込み)
予定価格	57,970,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	福岡県福岡市博多区博多区博多駅東二丁目10番7号
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 3年 8月18日
履行期間(至)	令和 4年 2月25日
備考	入札情報サービス(PPI) ( <a href="http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx">http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx</a> ) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

# 契約理由書

1. 業務件名 令和3年度河川構造物の耐震性能照査法に関する検討業務
2. 履行場所 福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
3. 契約の相手方 住所：東京都港区虎ノ門3丁目12-1ニッセイ虎ノ門ビル  
会社名：令和3年度河川構造物の耐震性能照査法に関する検討業務  
国土技術研究センター・応用地質設計共同体  
電話：03-4519-5000
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び  
予算決算及び会計令第102条の4第三号

## 5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

### 1) 当該業務の目的

本業務は、河川構造物の耐震性能照査指針・解説（以下、「耐震性能照査指針」という）のうち、自立式構造の特殊堤編・揚排水機場編について、改定案の作成及び意見聴取に必要な資料作成等を行うものである。

### 2) 業務の内容

- ・計画準備・・ 1式
- ・耐震性能照査指針（自立的構造の特殊堤編・揚排水機場編）の改訂に向けた技術的検討・ 1式
- ・耐震性能照査指針（自立式構造の特殊堤編・揚排水機場編）の改訂案の作成・・・・・・・・ 1式
- ・自立式構造の特殊堤の耐震性能照査に係る参考資料の作成・・・・・・・・・・・・・・・・ 1式
- ・河川堤防の液状化対策の設計法に関する検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1式
- ・河川堤防における震後対応の手引きの検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1式
- ・有識者等からの意見聴取及び資料作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1式
- ・報告書作成・・ 1式

### 3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を24者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書が提出され、1者が参加資格を有していた。

参加資格を有する1者を技術提案書の提出者として選定し、技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な業務実績並びに配置予定技術者の成績や表彰実績、更には本業務の実施方針や評価テーマに係る提案が優れており、十分な技術力を備えていると判断される。

特に、評価テーマの「揚排水機場の耐震性能照査について、構造に適した照査方法や条件を設定・確定するため留意点について」に対する技術提案について、与条件との整合性、着眼点、問題点、解決方法等が的確かつ理論的に整理されており、優れた提案がなされている。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

河川部 河川工事課長